

3. 今回の事案の資器材に対する本会の見解

今回の問題に関しては、認定工場から依頼を受けた一般社団法人日本ダクティル鉄管協会により、今回の不適切行為の対象である塗料を塗装した管体をもって実使用上の問題の有無に関する検証を行い、問題がないことの報告を受けています。本会としては、この報告内容を精査した結果、下水道用として実使用上の問題はないと考えています。

4. 今後の本会の対応について

本会としては、今回の問題に対する事実関係の詳細な調査を引き続き行ってまいります。

なお、ダクティル鋳鉄管の日本水道協会規格と本会規格は極めて類似しており、日本水道協会で公表された実使用上の問題はないという見解と一致しますが、認定工場制度を運営している本会としては、詳細の調査結果を踏まえ、今後厳正な対応を検討してまいります。

以上

担 当： 技術部規格検査課 岡本 TEL 03-6206-0946